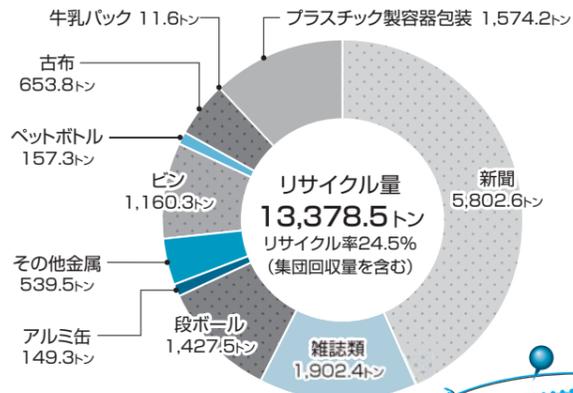
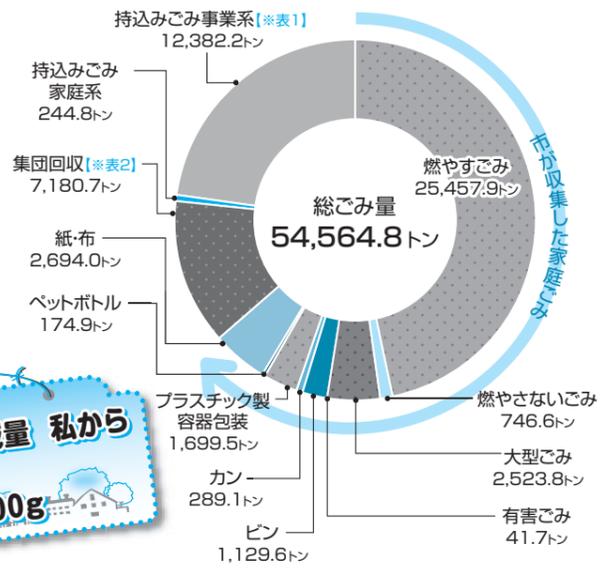


親子で学ぼう! かわにしのごみ

■リサイクル量(23年度) [図2]

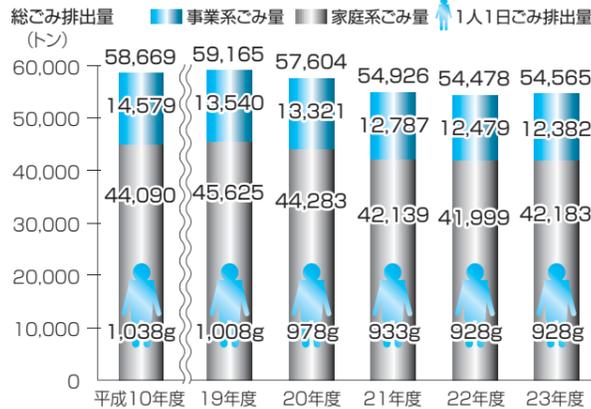


■総ごみ排出量(23年度) [図1]



始めよう! ごみの減量 私から
マイナス
1人1日 100g

■年度別のごみ量 [図3]



【※表1】

■事業系ごみ内訳(トン)

(お店や会社から出ているごみ)

燃やすごみ	11,850.5
大型ごみ	90.0
燃やさないごみ・有害ごみ	91.2
ビン	8.4
カン	3.2
プラスチック製容器包装	3.0
紙・布	3.8
剪定枝	332.1
合計	12,382.2

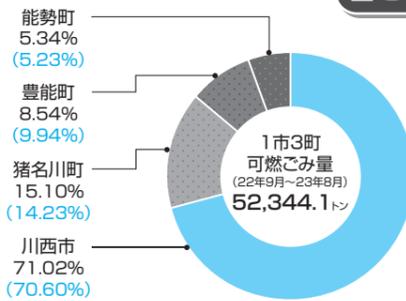
【※表2】

■集団回収内訳(トン)

(自治会、子ども会などで集めているリサイクル品)

新聞	4,576.3
雑誌	1,299.4
段ボール	882.7
古布	326.9
アルミ缶	83.7
牛乳パック	11.6
その他	0.1
合計	7,180.7

■ごみ処理にかかる経費(23年度) [図4]



●国崎クリーンセンター負担金(ごみ処理等経費)

1市3町負担金総額 1,086,269,000円
(※公債費、建設・改良費、ごみ処理事業外を除く)

川西市負担分 71.02% ≒ 771,475,000円

●川西市ごみ収集経費

1,256,094,495円

合計 20億2,756万円

1人1月当たり 1,052円 ※22年度は、1人1月当たり1,052円

()内は、1市3町の人口割合(平成24年3月31日)

「ごみ減量」

川西市オリジナルキャラクター「ごみ大好きぶつくりモンスター」のコメント!

●記者
川西市の23年度の人口は22年度よりも減少しているにも関わらず、総ごみ量が増えている(図3)为什么呢。

●モニター
リサイクル率も目標値の25%を少し下回っている(図2)ようで、俺様の大好きなごみが増えておるぞ。(笑)

●モニター
国崎クリーンセンターへの負担金については? 1市3町の人口割合よりも0.42%多い割合で支払っている(図4)。ごみが増えているのだから当然だろう。たくさん燃やして、たくさん市民のお金を払ってあげよう。

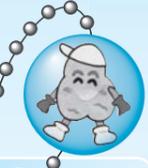
★クリンジャー
大変だ! みんなで協力してごみを減らそう!

これまでの活動

- ◆6月 初代会・委嘱状交付
- ◆7月 国崎クリーンセンター見学
- ◆8月 見学のふりかえり
- ◆9月 チャレンジ・モニター OGさんと交流会
- ◆10月 ワークショップ企画・検討
- ◆11月 ワークショップグループ分け
- ◆12月~ グループ毎に ワークショップ実行準備



チャレンジ・モニターの子どもたちも一緒に見学



ごみ減量チャレンジ・モニターとは

この制度は、公募による市民が、ごみ減量の取り組みの拡大に向けて活動するものです。

今年度は「子どもたちの芽、一緒に育てよう」をテーマに、ごみを減らす大切さを体験・実感できる取り組みを企画し実践していきます。

「キッズ『り・ぼ・ん』」ワークショップを企画して

～チャレンジ・モニターから子どもたちへの思い～

むかしのスゴ技にチャレンジチーム

何でも買える時代ですが、おもちゃも身近なものを工夫して手作りすることで、大切に長く使うことができるのではないのでしょうか。子どもたちに昔ながらの知恵や工夫を伝えたいと思います。



大地の恵みに感謝チーム

普段、捨てているような野菜くずでも工夫すればおいしく食べられることを知ってほしいと思います。食べられるようになるまで育てるのにどれだけ手間がかかるか、そのことを知ってもらい、残さず食べるような子どもになってほしいです。



エコハガキで手紙を送ろうチーム

燃やすごみで出しがちな菓子箱などの雑紙がリサイクルできることを知ってもらい、資源として活用されるようになってほしいと思います。



「ごみ減量」



市ではキャラクターなどを通じてごみ問題を身近なものとして興味と関心を持てるよう工夫しています。また、親子での学習会の参加を推進し、一緒に学ぶ機会を増やしていきたいと考えています。成長した子どもたちが、ごみの減量や分別を日々の生活の中で実践していくような社会をめざして取り組みを進めます。